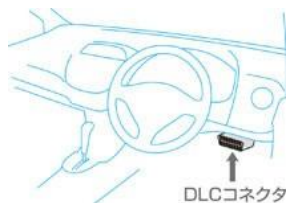


トヨタ車用ハイブリッド車 整備モード移行ツール BHIC-HV-00

生産終了・在庫限り

トヨタ・ハイブリッド車※のDLCコネクタに本機を差し込むことで、2WD整備モードに移行できます。



整備モードとは

ハイブリッド車は、エンジン暖機状態でHVバッテリーの充電状態が良好な場合には、停車中にエンジンは自動停止します。この為、点火時期の点検やエンジン調整、車検時の排気ガスの測定点検を行う時などで停車中でも、エンジンの連続運転が必要な時は、2WD整備モード（MAINTENANCE MODE）に移行する必要があります。TRC（トラクションコントロール；タイヤの空転防止装置）を採用している為、スピードメーターテスターなどで前輪のみを回転させる場合は、TRC装置の作動解除を行う、2WD整備モードに移行する必要があります。

主な使用目的



整備モード	主な使用目的	車両制御内容
2WD整備モード	<ul style="list-style-type: none">●点火時期調整などのエンジン調整●車検時のアイドルCO/HC点検●スピードメーターテスター、2輪シャシダイナモメーターなどの試験	<ul style="list-style-type: none">●シフトPポジション時、エンジン強制アイドルリング●TRC装置の作動解除●リアモーター制御シャットダウン(2WD走行)
4WD整備モード※	<ul style="list-style-type: none">●点火時期調整などのエンジン調整●車検時のアイドルCO/HC点検●スピードメーターテスター、4輪シャシダイナモメーターなどの試験	<ul style="list-style-type: none">●シフトPポジション時、エンジン強制アイドルリング●TRC装置の作動解除

※本ツールでは、4WD整備モードへの移行は出来ません。

車検では

- ・車検時のアイドル点検 排気ガス測定(CO/HC点検)
- ・スピードメーターテスター、ブレーキテスターなど

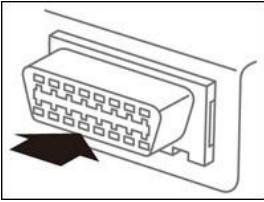
重要：一部4WD車では、ブレーキ制動力試験時、整備モードをOFFの通常状態に戻しての試験が必要となります。

一般整備では

- ・点火時期点検などのエンジン調整
- ・冷却水の交換、エンジンオイル交換時など
- ・エンジンを停止しない状態で、エンジンの確認・点検など

操作手順

- ①DLC（車両側コネクタ）にツールを装着します。



- ②パワースイッチを2回押します。（IG-ON）



- ③2WD整備モード(MAINTENANCE MODE)に移行します。

車両によって、ディスプレイ内のハイブリッドシステム警告灯が点灯もしくは点滅。
メーターディスプレイに『2WD整備モード』『MAINTENANCE MODE』が表示されます。



- ④ブレーキペダルを踏みながら、パワースイッチON。

『READY』ランプが点灯し、エンジンが連続運転となります。

- ⑤2WD整備モード(MAINTENANCE MODE)の解除は、パワースイッチOFF(IG-OFF)にします。

※ツールをコネクタから外しても解除になりません。

【重要】整備モードのまま道路上を走行すると、トランスアスルを破損する恐れがあります。

仕様

使用温度・湿度	-10～55℃、90%rh以下（ただし結露のないこと）
動作電源電圧	DC8～32V（車両から供給）
寸法	137mm(W)×48mm(L)×32mm(H)
質量	約65g

安全に関するご注意

整備モードのまま道路上を走行されると、トランスアスルを破損する恐れがございます。

整備モードを解除する場合は、イグニッションをOFFにして下さい。

イグニッションONの状態、ツールをコネクタから外しても解除になりません。

一部4WD車では、ブレーキ制動力試験の際、整備モードをOFFの通常状態に戻しての試験が必要となります。

整備モード移行中にダイアグコードが認識されましてもマスターウォーニングは点灯しますが、マルチセンターディスプレイの警告灯の異常表示はされません。整備モードを解除して点検を実施して下さい。

本ツールでは、4WD整備モードへは、移行しません。